



▲赤々と燃えるかがり火に、震災犠牲者の冥福を祈りました

夏 東和で「機織沼かがり火まつり」 の夜を幻想的に彩る

今年で12目を迎える「機織沼かがり火まつり」(はたおり沼振興会主催)が8月15日、東和町錦織の機織沼を会場に開催されました。今年は「鎮魂…祈りそして希望の灯へ」をテーマに、無料釣り堀コーナーのほか、輪投げやカキ氷などの出店が数多くなり、地元住民や子どもたち帰省者など、大勢の人が訪れにぎわいました。会場内には多数の灯籠が掲げられ、設置された「かがり火」に火がともされると、訪れた人々は暗闇に光るかがり火を見つめ、東日本大震災犠牲者の鎮魂と復興を祈りました。

6 豊里で「第62回豊里町地区対抗野球大会」 チームが熱戦を繰り広げる

豊里地区の夏の恒例大会となっている豊里地区対抗野球大会(豊里地区体育協会主催)が7月24日に開催されました。この大会は昭和25年に第1回大会が開催され、今年で62回目となる伝統ある大会で、今年は町内各地区から6チームが出場。30度を超える真夏日の中、各チームとも熱戦が繰り広げられ、選手たちは互いに声を掛け合いながら白球を追いかけていました。大会結果は、過去12回の優勝歴を持つ下町チームが優勝の栄冠に輝きました。【優勝】下町【準優勝】大曲【第3位】新町、保手



▲晴れ渡る夏空の下、優勝を目指して熱戦を繰り広げる選手たち

交 中田「交通事故凍結大作戦」 交通事故ゼロを目指して

夏の交通事故凍結(アイス)大作戦が、8月7日、国道346号線宝江黒沼十文字地内で開催されました。この事業は、中田町交通安全団体連絡協議会が夏の交通事故防止運動の一環として実施したもので、交通事故を凍結しようとアイスシャーベット500本と事故防止のチラシなどを通行車両に配り、居眠り運転や交通事故の防止を呼び掛けました。当日は最高気温が30度を超える猛暑の中、アイスシャーベットを配られたドライバーは「アイスを食べると交通事故を凍結します」と笑顔で話していました。



▲真夏の日差しの下、各団体が協力し通行車両に交通安全をPR

豊 迫で「迫っ子サマーキャンプ」 かな自然を仲間と満喫

合宿を通して、新しい仲間と自然の中で多くの事に挑戦することにより、子ども会の活性化と地域リーダーの養成を目的に「迫っ子サマーキャンプ」が8月3～4日、国立花山少年自然の家で開催されました。参加者は迫町内小学校の5～6年生で、迫町ジュニアリーダー「青びつき」の皆さんにお世話してもらいながら、沢遊びや野外炊飯にチャレンジしました。沢遊びでは、水を掛け合いながら仲間と一緒に自然を満喫し、野外炊飯では、自分たちでカレーを作り、みんなで野外での食事を楽しみました。



▲皆ずぶ濡れになりながら、元気一杯に沢遊びを楽しむ子どもたち



▲昼食には、みんなでジャンボ流しソーメンを楽しみました

児 米山で「姉妹都市入善町と交流事業」 童同士が体験を通して交流

市と姉妹都市の関係にある富山県入善町の小中学生18人が、7月27から29日までの3日間登米市を訪れ、米山町内の小学校児童と交流しました。この事業は、入善町の人たちが昭和初期に米山町に入植した歴史的背景をきっかけとし、平成15年から始まったものです。登米市を訪れた子どもたちは、平筒沼ふれあい公園で林間楽校に参加している米山町内の児童とともに、ウォークラリーや海洋性スポーツ、ドラム缶での入浴などを体験。また入善町から贈られたジャンボスイカを参加者全員で試食し、交流活動をお互いの友好を深めていました。

地 石越で「ふれあい朝市」 元の旬の恵みが満載！

生産者と消費者の交流を深めようと8月12日、JAみやぎ登米石越支店駐車場を会場にふれあい朝市が開催されました。午前6時の花火を合図に朝市が始まると、多くの人々が会場に集まり石越産大豆100%使用の納豆、豆腐、油揚げが入った100組限定の「ニコニコセット」が早々に完売するなど、多いにぎわいました。また、出店コーナーでは地元産の野菜や生花なども出品され、来場者は生産者と言葉を交わしながら商品を購入し朝市を楽しんでいました。



▲新鮮な野菜や旬の食材を求め、多くの人でにぎわう朝市会場